

ハリタ金属株式会社

会社概要

法人名称 / ハリタ金属株式会社
 設立 / 1975年8月(創業 1960年6月)

ハリタ金属株式会社 本社 / 〒939-0135 富山県高岡市福岡町本領1053-1
 射水リサイクルセンター / 〒934-0035 富山県射水市新穂34-11
 金沢支店 / 〒924-0051 石川県白山市福留町524-1
 富山支店 / 〒931-8332 富山県富山市森2-9-20

代表者 / 代表取締役 張田 真(はりたまこと)
 資本金 / 5,000万円
 従業員数 / 263名(平成29年6月末現在)

役員 / 代表取締役 張田 真
 取締役 寺橋 真樹
 取締役 澤島 明人
 取締役 原田 健一
 取締役 梶迫 啓彰
 取締役 野口 智史
 監査役 池田 耕市

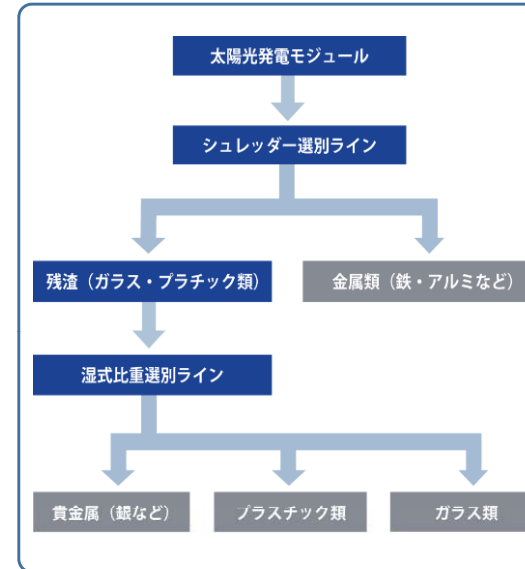
- 専業内容 / ●産業廃棄物の収集運搬・中間処理
 ●一般廃棄物の収集運搬・中間処理
 ●鉄スクラップの精錬・選別(製鋼原料の回収)
 ●自動車中古部品販売
 ●家電リサイクル事業
 ●自動車リサイクル事業
 ●二輪車リサイクル事業
 ●小型家電リサイクル事業

ISO14001認証取得 適用範囲:本社サイト

沿革

- 1960年 6月 張田商会として高岡市にて創業開始
- 1965年 自動車リサイクル開始
- 1971年 ハリタ商会として福岡工場設立・移転
- 1975年 8月 組織変更を行い、ハリタ金属(株)設立
- 1975年 9月 500t半口チンを導入し、鉄スクラップの破碎処理を開始(本社工場)
自動車中古部品販売を開始
- 1976年 7月 産業廃棄物収集運搬業(富山県)の許可取得
- 1978年 アルミエンジン箱解体 解体取得及び製造販売開始
- 1979年 9月 産業廃棄物処分業(富山県)の許可取得
- 1985年 12月 アルミ溶解回収炉・分析機を導入(本社工場)
- 1991年 8月 1,500HPシュレッダー・300HPプレシュレッダーを導入し、鉄スクラップの処理能力を増強(本社工場)
- 1992年 10月 産業廃棄物収集運搬業(石川県)の許可取得
- 1995年 1月 ハリタ金属(株)金沢支店を設立。
- 1997年 9月 1,000t半口チンを導入(金沢支店)
- 1998年 11月 産業廃棄物処分業(石川県)の許可取得
- 2000年 5月 700HPプレシュレッダー導入(本社工場)
- 2001年 4月 家電リサイクル法施行に伴い、百貨品化工場に認定。
家電リサイクル法施行に伴い、富山支店、営業開始。
- 2001年 10月 シュレッダーダスト圧縮機、冷蔵庫、断熱材フロン回収機を本社工場に導入(家電リサイクル対応)
- 2003年 5月 本社サイト ISO14001認証取得
- 2004年 10月 二輪車リサイクル開始
- 2006年 1月 量産選別装置導入(本社工場)
- 2006年 11月 FRP船リサイクル指定引取場所に認定
- 2008年 12月 射水リサイクルセンター移転
2,000HPシュレッダー・750HPプレシュレッダー導入(射水リサイクルセンター)
- 2010年 6月 1,250t半口チン導入(射水リサイクルセンター)
- 2013年 6月 小型家電リサイクル法の認定事業所に認定
- 2014年 8月 アルミ二次合金製造事業を素材販売事業へ事業転換(環境負荷軽減)

太陽光発電パネルリサイクルフロー



太陽光発電パネルを全設備屋内型シュレッダー選別ラインにより破碎し、金属類(鉄・アルミなど)を取り除き、湿式比重選別機(シグ選別機)で物質相互の比重差を利用して上層分と下層分に分けることでガラス類、プラスチック類、貴金属(銀など)に選別を行います。湿式比重選別機は水しか使用しないので低コストかつ大量処理が可能です。

湿式比重選別ライン(実験機)



シュレッダー処理工程

シュレッダーライン



ローダー
対象物をプレシュレッダーへ運びます。



プレシュレッダー
シュレッダーに入れる前にある程度大きさを削り砕きます。



シュレッダー
対象物を細かく碎きます。

選別ライン



集塵装置
対象物を破碎した際に発生した粉塵を回収します。



磁力選別ライン
磁力で鉄と非鉄金属・ダストに選別します。



非鉄選別ライン
ミックスメタル・ダストに選別します。

最新設備 開発中の次世代ソーティングシステム



LIBSソーター
元素レベルのリサイクル



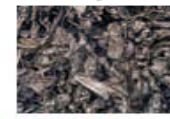
シグ選別ライン
比重選別



ダスト保管ヤード



減容・圧縮機



シュレッダー鉄
製鉄メーカーでリサイクルします。

最新設備の射水リサイクルセンターでは、ダスト成分から、従来回収できなかった資源も回収可能になりました。



金銀銅、レアメタル
含有率 1t中に100g以上の1割が含まれている(例:銅)は、鉱石1t中に約3gでした。金以外に銀、パラジウム等も含まれます。



ステンレス、銅線類
重量センサーを用いた選別により、ダスト中の金属資源を自動で選別します。